

平成26年度 市立甲府病院経営計画 点検・評価状況

目 標 項 目		点 検 ・ 評 価
財務に係る 主要項目	経常収支比率	・いずれの項目も目標値に届いていないことから、収支改善に向け、具体的にどのような取り組みが考えられるのか、必要なか早急に検討を進め、取り組みを進めていく必要がある。
	職員給与費比率	・担当部署を決め、各部門ごとに対応方法を考え、目標達成に向けて取り組むことが必要である。
	病床利用率	・収益の増はあるものの、費用の増が上回っており、その大きな要因が給与費であることから、給与費を抑制するための工夫・方策を考え、対処する必要がある。 ・収益の範囲内で経費を抑制することを検討すべきである。
関連指標	患者数	・入院・外来とも診療単価が低い原因を分析し、単価向上のための対策を講じる必要がある。
	患者1人1日あたり収益(単価)	・職員間の情報共有により、診療報酬請求の算定漏れ、査定対策を徹底し、算定可能なコストを確実に確保する必要がある。
	費用比率(材料費・経費・減価償却費)	・光熱費について、LEDへの切り替えや電力会社の変更を検討する必要がある。経費削減・投資効果を検証し、経費削減に取り組んで欲しい。 ・医療機器の更新等、設備投資の際には、市へ財政的な支援を要請することも検討する必要がある。

項 目	点 検 ・ 評 価
断らない医療の実現に向けた救急医療体制と診療体制の充実	救急搬送受入件数は年々増加し、入院率も上昇している。救急医療体制の維持には地域が一体となった取り組みが必要であるが、収益確保の面からも積極的に取り組んで欲しい。
在宅医療へシフトする医療制度における地域医療連携の推進	紹介患者数、逆紹介患者数をはじめ、紹介率、逆紹介率も順調に推移している。平成27年度に開設した地域包括ケア病棟、総合相談センターを有効に活用し、地域診療所や近隣病院との一層の連携体制の強化に努め、収益増加を図りたい。
地域で求められる予防医療とがん治療に関する医療の推進	地域がん診療連携拠点病院の認定は更新したが、診療実績等、地域に広くPRし、患者確保に努めて欲しい。
安定した経営基盤を支える人材育成と円滑な運営を実現する人事組織体制の構築	医師、看護師等、必要な医療スタッフは確保されている。また、医療総合研修センターの設置による資格取得支援により、当院が必要とする人材育成が積極的に行われている。引き続き計画的な採用を行うとともに、医療スタッフの支援体制を進める必要がある。
診療報酬改正等の的確な情報収集と対応による収益確保、効率的経営に向けた経費と院内在庫の削減	平成27年度に設置した院長直轄の経営改善推進チームによる、指導管理料等の算定対策の成果が徐々に現れている。今後とも病院が一体となった積極的な取り組みを期待する。また、医療機器更新に関しては、5カ年計画に基づき進める予定であるが、毎年度の収支を踏まえ、ローリングによる計画見直しを行うなど、適宜適切に進める必要がある。
災害時において確実に医療提供ができる体制の充実	DMATチームの2隊目が発足し、体制強化が図られた。地域災害拠点病院として、災害時に必要とされる医療提供体制の確保に引き続き取り組むよう期待する。
甲府市が進める地域医療、保健事業への貢献	甲府市立の病院として、引き続き、市の実施する各種保健事業やへき地医療へ積極的に協力することが必要である。